

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|    |               |
|----|---------------|
| 所在 | 千代田区外神田2-17-4 |
| 園名 | 保育室「愛の園」      |

## 1. 活動のテーマ

当園が開園以来継続して行っている教育活動の中の【英語】を活かしながら【ことば】についての探究活動を実施し、非認知能力の向上等の保育内容の充実を図ります。

### <テーマの設定理由>

開園以来、月2回30分ずつの英会話教室の中で、子どものみならず保育士も共に参加して一緒に英語に触れて参りました。そんな中、外国人の保護者の方が数名いることから、お迎えに来ると英語で話しかけてみようするなど、英語への興味関心が高まってきていると感じます。今回はプレバレーションさんによる英語教室の中で生きた英語に触れ、日本語や英語など言葉への興味をもっと高めていけると思っています。またネイティブの保育補助も入り、外国の方との交流を深めて参ります。

## 2. 活動スケジュール

乳児は英語と日本語の絵本に触れ、違いについて知る機会を持つ。幼児は昨年度の活動を進めるなかで「英語を話すお友だちと英語で話をしてみたい」「英語で伝えるにはなんと言うんだろう？」という気持ちが高まってきた様子。両方のことばの違いや特徴への疑問を問いとして設定し、英語・日本語両方の歌の教材、絵本を用意して、ことばの違いに関して知る中で、それぞれの言葉をつかう人たちや、国、文化を探求していく。日本語や英語を話す保育者、講師それぞれが保育に入ることにより普段の生活の中で聞き、ことばの違いについて探求できるようにする。またその様子を写真や動画を使って記録する。

活動が終わったあと、英語講師と外国人の保育補助を含めて振り返り、内容については掲示し保護者と共有する。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

環境設定： ケアタイムの中で

準備物： 歌詞カード、動物フラッシュカード、動物鳴き声図鑑

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

スクリーンの写真やイラストを見ながらアメリカという国について知る。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

スクリーンに映し出すと「テレビー！」と興味を示す。英語ってどういう言葉かな、るみ先生が話してくれていつも教えてくれるよね。どこの国の言葉だかみんなは知ってる？と聞くと「アメリカ！」と数人が答える。アメリカはどこにあるか知ってる？と聞くと「外国！」と一人が答える。「場所はわかる？」と地図を出してみる。大陸ごとに色分けされている世界地図を見て、それぞれ「きいろ」「オレンジ」「パープル」と答える。(正解はきいろ) その大陸のなかから、アメリカの場所はここだよと○をつけたスクリーンを見せる。「国旗はわかるかな？」と世界の国々の国旗を見せながら聞く。まずは日本はどれかなと聞くと皆日本の国旗を指さしたり目で見るとある。正解と伝えると「やったー」と声をあげる。アメリカは？と聞くと数人がアメリカの国旗を指さしている。アメリカには州があること、日本には都道府県が47あることを伝える。アメリカは50州あるんだって。と伝えると「えー！」という驚きの声がかかる。「北海道知ってるよ！」と馴染みの場所を声に出して隣の友達と顔を見合わせている。50州の中でもアメリカのニューヨーク、フロリダ、ロサンゼルス、の中で有名な場所や人を紹介していく。Los Angelesで活躍している人は知ってる？「知らないなー」というこ。「ヒントは野球選手です」と伝えると「おおたにせんしゅ」と言う。スクリーンを見てうんうんと頷く子もいる。るみ先生の出身地も写真でみる。街中、住宅、本場のハロウィン、クラブケーキ、ピザ(ベジタリアン)の写真等を見て、「へえ」「おなかくね」「すみたい」「〇〇のうちには庭ないよ」「え、やさいだけのピザ？」等それぞれ思った事を口に出していた。るみ先生にアメリカのことを聞いてみたい人はいる？と聞くと数人が手をあげる。「納豆はありますか」「チョコケーキある？」「弟は何歳？」等質問する。一人は英語が話せるため、今までの自分の経験を英語で話す姿もあった。それぞれが興味をもったり、新たに知ることもあった様子で、アメリカという国について知るきっかけができた様子だった。

#### 5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

保育室に戻ると、一人が「国旗の絵本あったよね」と取り出して読みだす姿があった。周りの子どもも寄ってきて、アメリカのページを見つけると「ここ」「あめりか」と気付く子ども達だった。他の国の国旗を見て「こんな国旗なんだね」と友達同士で話あったり、壁に貼っていた世界地図を指さして「この辺？」とアメリカのるみ先生が生まれた場所を思い出そうと話していた。また、自分の生まれた所はどこだろうと地図上で指を動かしていた。アメリカという国や文化や生活について知ったことで、疑問が生まれ、興味を持ち、また同時に自分の生まれた場所にも興味があつた様子だった。出た疑問を今後の生活の中で深掘りしていきたいと思った。

